

穴見陽一 FAX通信

「専門家としての議員活動」

私も国会議員5年目を迎えました。議員活動を続けてきた中で、国会議員として何がしたいのかが明確に見えてきたような気がします。私はやはり理不尽に冷遇されている方々の事が気になって仕方ないということに気が付かされました。選択してきた仕事は、放射性廃棄物の処分問題に始まり、少子化対策、高齢者雇用、障害者自立支援、生活困窮者自立支援、生活保護、社会保障制度及び関連税制、労働力確保対策、これらの対策としての働き方改革、中小企業支援、消費者問題対策、食品や医療の安全問題等です。

はやらない分野の仕事にどうしても手が出てしまう、誰かが頑張ってくれている分野は彼らに任せてしまつて、自分はやりがやたらがらない仕事にこそ使命を感じて取り組んできました。

以外の問題については、各専門の先生方と連携することで、選挙区である大分県や大分市の対応を図っていきます。

生命は生き残りを掛けて、弱肉強食の世界を闘っています。通常の経済の世界では、自然と適者生存の法則が働いています。政治・行政は、基本的にはその反対の役割、即ち強者に負担を求め、弱者を救済する事に使命があると思います。その働きで、社会の対立を緩和し、融和を図ることで社会を安定的に成長発展させる事が出来るのだと思います。

政治が取り組むべき仕事は、この国に関する総ての問題ですが、それを全て一人で取り扱う事は現実的に不可能ですし、問題を深く掘り下げる事が出来なくなります。本当に価値ある仕事をしていくには専門的に取り組む必要があります。私は上に記した分野の仕事を深める為に、衆議院の厚生労働、経済産業、消費者問題の各委員会の委員や理事に就任しましたので、今後もライフワークとして、これらの問題を深掘りして行こうと思っています。そして自分の専門

私の選択している分野は、むしろ野党が取り扱っている問題に近い分野です。だからこそ我が党においては野党を支援している団体の為の仕事となり、力が入りにくい分野でもあります。ですから私の支援者の中には、穴見は本当に自民党の議員なのか、他の党の議員みたいな事を言っているとも揶揄される事がありますが、私は、私のような仕事をする人間がいるからこそ、自民党は国民政党であり、中道の政治を行うことが出来、広く国民の信託を得る事が出来るのだと思います。そういう意味で私は今後とも、国民生活に

もちろんな安全保障や教育問題や産業政策にも強い関心と意見を持っていますが、他の人がやるうとしない又

おいて重要な事は困難を覚悟してやり続けたいと思っています。

Facebookでも活動報告を行っています。(Facebook アドレス) <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

